

南島のエコツーリズム ～利用ルールが変わりました！～



小笠原 世界自然遺産だより 第4号 2023年6月

南島の自然環境は大きく回復！

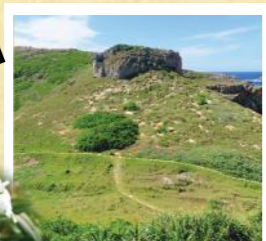


2003年

オオハマボス
(小笠原固有種)



オナガミズナギドリ
の雛



2023年

南島で適正な利用ルールを開始してから20年...

かつて荒れていた南島の植生は大きく回復し、固有植物も多く見られるようになりました。回復した固有植物の群落は、貴重なカタマイマイ類の野生復帰候補地にもなっています。また、オナガミズナギドリ等の海鳥も増えました。

南島の利用ルール見直しについて

自然ガイドの同行や利用経路の遵守等によって自然が守られていることから、最大利用者数・時間等のルールが6月から廃止になりました。

- ・利用経路以外 立入禁止 ⇒ **ルール継続**
- ・最大利用時間：2時間 ⇒ **ルール廃止**
- ・1日あたりの最大利用者数：100人 ⇒ **ルール廃止**
- ・制限事項「年3か月間の入島禁止」 ⇒ **ルール廃止**
- ・ガイド1人が担当する利用者の人数の上限：15人 ⇒ **ルール継続**

※自然ガイドの同行や外来種を持ち込まない、動物を驚かささない等の共通ルールは継続しています。



引き続きルールを守った利用をお願いします！

今後も南島を利用される際は、自然ガイドの案内に従い、利用ルールの遵守をお願いします。みんなで貴重な自然を守りながら適切に利用していきましょう。



ホームページをリニューアルしました！

小笠原自然情報センターHPは2023年3月に「小笠原世界遺産センターHP」としてリニューアルしました！

小笠原世界遺産センターHPでは、遺産センターの開館情報やイベント情報はもちろん、小笠原の自然や世界自然遺産に関する最新情報を発信しています。小笠原世界自然遺産だよりのバックナンバーもダウンロード可能ですので、ぜひご覧ください。



遺産事業について もっと知りたい！



基礎資料集の配布について

小笠原世界自然遺産だより第4号では、今年度実施中の遺産事業を紹介しました。

昨年度の事業成果等は、「小笠原諸島世界自然遺産に関する基礎資料集—令和4年度版—」としてとりまとめ、今年4月に父島・母島の各ご家庭に配布しております。小笠原の自然を守るための取組についてもっと知りたい！と思った方は、ぜひご覧ください。
※基礎資料集は、小笠原世界遺産センターHPからもダウンロード可能です。

◆お問い合わせ先◆

表紙写真(上)：南島 鮫池、(下)南島 利用経路 東京都撮影(2022年)

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）
Tel/Fax：04998-2-7174/7175
(母島自然保護官事務所 3-2577)

東京都小笠原支庁土木課自然環境担当
Tel/Fax：04998-2-2167/2302

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター
Tel：04998-2-3403

小笠原村環境課
Tel/Fax：04998-2-2270/2271



今年度注目の取組をご紹介します。

ノヤギ対策 @父島

目標 ノヤギを捕獲して在来植生を回復！

現在、ノヤギ対策は残すところ父島のみで、罾や銃器による捕獲作業を実施しています。

引き続き、在来植生回復のため、捕獲の手を緩めずに、ノヤギ“ゼロ”を目指します。

ノヤギにより葉と幹に食害を受けた在来植物



ノヤギによる父島の在来植物の食害が確認されています。

ノヤギ対策が完了した島では貴重な在来種の回復が確認されています。

引き続きのご協力をお願いいたします。 東京都

野生化したノヤギ



父島

マイマイの野生復帰 @南島

目標 生きたマイマイを再び南島で見られるようにする！

父島ではニューギニアヤリガタリクウズムシ（ニューヤリ）によってほとんど食べ尽くされてしまった小笠原固有の「カタマイマイ」の仲間。数少ない生き残りを世界遺産センターで飼育・増殖しています。

南島にニューヤリはいませんが、カタマイマイ類は別の理由で絶滅したと考えられています。

絶滅したカタマイマイ類の半化石



復帰候補地のタコノキ群落 @南島



裏表紙コラムにあるように南島の植生が回復してきたことなどを踏まえて、今年度からカタマイマイ類の野生復帰にチャレンジする予定です。

父島南部産のカタマイマイ類の復帰に向けて、鋭意準備中です！

野生復帰とは？
施設の中で育てた個体を生息地へ戻して、個体数を回復させる取組のこと。

世界遺産センター @父島

環境省

外来種対策 『ははの湯』 @母島

目標 土付き苗による外来種侵入を防ぐ！

速報 『ははの湯』小笠原アイランズ農協と連携！

土付き苗に付着して侵入する外来種を取り除くため、母島の自主ルールとして運用中の温浴設備『ははの湯』。

今年度から受付・実施を小笠原アイランズ農協に委託しました。

記念すべき第1回のご利用は母の日のカーネーション。



温浴の様子

温浴後の浴槽からはハエの仲間などが出てきました。

『ははの湯』稼働実績はこちらから確認できます。



今後たくさんのご利用をお待ちしております。

環境省

オガサワラカワラヒワ保全対策 @平島

目標 オガヒワ繁殖地をネズミから守る！

水場に飛来したオガヒワ



写真出典 Islands care

平島におけるネズミ対策では、令和4年の冬の殺鼠剤散布以降、今年4月時点まで、ネズミは確認されていません。3月には平島に設置した水場にオガヒワが同時に4羽飛来、5月には幼鳥が確認されるなど、観察状況が昨季より良好です。

ただし、あくまで今季のみの結果であり、絶滅の危機から脱したわけではありません。オガヒワ保全のため、今年度もネズミ対策を続けます。

小笠原村

外来植物駆除 @妹島

目標 妹島の原生林を守る！

オガサワラカワラヒワも棲んでいる妹島は、とても綺麗な原生林が広がっています。



妹島



尾根部に広がるギンネム

しかし、ギンネムやパパイヤなどの外来植物が増えつつあるため、これらを早めに駆除して妹島に広がる原生林を守りたいと考えています。

林野庁

他にも小笠原の自然を守るための取組をたくさん実施中です！